

日交研シリーズ A-614
平成 25 年度共同研究プロジェクト
「自動車保険研究」
刊行：2014 年 12 月

高齢者の交通事故と高齢者福祉
— 高齢者の自動車事故と補償対策 —

The Automobile Accidents and Welfare for the Elderly People

主査：堀田 一吉（慶應義塾大学教授）

Kazuyoshi Hotta

要 旨

高齢社会において増大する事故コストは、自賠責保険と任意保険、ならびに社会保障制度を通じて社会全体で負担されている。問題は、それらの補償システムの間で、どのようなルールで負担するかである。高齢者の補償問題は、社会保障制度との連携する領域が多く、同時に、高齢者福祉の問題でもある。

高齢者福祉の観点からすれば、可能な限り高齢運転者が交通参加できるような社会環境づくりが大切である。高齢者生活において、自動車利用の必需性が高まる中で、交通環境から高齢者を排除しない交通環境をどのように整備するか重要な政策課題となっている。

こうした重層的な考察を通じて、自動車保険を中核とした高齢者に配慮をした最適な補償システムの構築のみならず、高齢者福祉の観点から、将来に向けての高齢者の補償対策の方向性をさらに考察する。

キーワード：人身損害補償システム、保険の社会化、高齢者福祉、共生社会

Keywords : Compensation System for Personal Damage, Socialization of Insurance, Welfare Policy
for the Elderly People, Coexistence Society